

教育委員会の点検・評価報告書

(令和5年度事業分)

令和6年8月

対馬市教育委員会

教育委員会の自己点検・評価について

教育委員会の責任体制の明確化を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、「教育委員会は、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用し、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならない。」とされています。

本市教育委員会は、対馬市教育方針を柱とし、対馬市総合計画並びに対馬市教育振興基本計画に基づいて、本市の教育施策を総合的かつ計画的に推進するため、各施策を実施してまいりました。

各施策の具体的な事務事業を推進するに当たり、効率的・有効的に実施できているか自己点検及び評価を行い、その報告書を作成いたしました。

また、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用については、今回3名の学識経験者に依頼し、所見をいただいております。

自己点検・評価に当たっては、客観的な視点に立ち実施しており、学識経験者の所見にもあるように、教育機関等との連携、学校施設の適正配置の促進、学力向上対策、自己実現を目指す子供の育成、ICTを活用した教育の充実、郷土を愛する『つしまっ子』の育成、生涯・競技スポーツの普及振興及び文化財の活用等について、一定の評価が得られております。

一方、改善を要する点として、小・中学校施設の整備、島っこ留学の促進、特別支援教育の推進、生徒指導の充実、幼稚園・こども園教育の充実、芸術文化活動の発表機会の場づくり及び文化財の情報発信の強化等について、期待を込めたご意見をいただいております。

この報告書を作成するに当たり、学識経験者からいただいた所見を真摯に受け止め、本市教育委員会の課題や今後の取組の方向性を再考し、市民に信頼されるよう適正で効率的・効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

令和6年8月

対馬市教育委員会

◇目 次◇

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1. 教育委員会及び教育委員の活動

(1) 教育委員会会議の運営改善	1
(2) 教育委員会と事務局との連携	1
(3) 教育委員会と市長との連携	1
(4) 教育機関等との連携	1
(5) 教育委員の自己研鑽	1

2. 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

(1) 教育行政の基本方針に関する事	2
(2) 学校その他の教育機関の設置及び廃止に関する事	2
(3) 予算その他の議会の議決を経るべき議案に関する事	2
(4) 教育委員会規則の制定又は改廃に関する事	2
(5) 学童児童及び生徒の就学すべき学区の設定又は変更を すること	2
(6) 県費負担教職員の懲戒及び県費負担教職員の管理職任 用その他進退について県教育委員会に内申すること	2
(7) 教育委員会の附属機関の委員の任免を行うこと	2
(8) 教科用図書の採択に関する事	3
(9) 教育委員会表彰を行うこと	3
(10) 文化財の指定又は解除に関する事	3
(11) 教育部長、理事、次長、本庁の課長及び指導主事の任 免その他の人事に関する事	3
(12) 人事の基本方針を定めること	3
(13) 県費負担教職員のサービスの監督の一般方針を定めること	3
(14) 教育委員会の附属機関に対し諮問を行うこと	3

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長に委任される事務）

【郷土を知り、愛し、未来につなぐ学びの充実】

教育総務課

◎安全・安心な教育環境の整備・充実

1. 小・中学校施設の整備

(1) 快適な学習環境づくり	4
(2) 児童・生徒の安全対策	4

2. 学校施設の適正配置の促進

- | | | |
|----------------|-------|---|
| (1) 第2次統合計画の促進 | | 5 |
| (2) 島っこ留学の促進 | | 5 |

学校教育課

◎確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進

◎国際化に対応できる教育の推進

1. 対馬を支える人材の育成

- | | | |
|-------------------|-------|---|
| (1) ふるさと学習の充実 | | 6 |
| (2) 国際理解・外国語教育の充実 | | 6 |

2. 個々の学びの充実

- | | | |
|---------------|-------|---|
| (1) 学力向上対策 | | 6 |
| (2) 特別支援教育の推進 | | 7 |
| (3) ICT教育の推進 | | 8 |

3. 自己実現を目指す子供の育成

- | | | |
|----------------|-------|---|
| (1) 生徒指導の充実 | | 8 |
| (2) 道徳教育の推進 | | 9 |
| (3) 人権・平和教育の推進 | | 9 |

4. 健やかな体を持つ子供の育成

- | | | |
|----------------|-------|----|
| (1) 体力向上対策 | | 9 |
| (2) 健康教育の推進 | | 9 |
| (3) 食育と学校給食の充実 | | 10 |

5. ICTを活用した教育の充実

- | | | |
|-------------|-------|----|
| (1) 端末活用の促進 | | 10 |
|-------------|-------|----|

6. その他

- | | | |
|-------------------|-------|----|
| (1) 経年研修の実施 | | 11 |
| (2) 管理職員研修の実施 | | 11 |
| (3) 学校訪問 | | 12 |
| (4) 幼稚園・こども園教育の充実 | | 13 |

生涯学習課

◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進

◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興

◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進

1. 生涯学習を推進するための体制づくり

- | | | |
|-------------------------|-------|----|
| (1) 各機関や社会教育団体との連携体制づくり | | 14 |
| (2) 各社会教育団体への支援 | | 14 |
| (3) 社会教育施設の整備・充実 | | 14 |

2. 郷土を愛する『つしまっ子』の育成

- | | | |
|----------------------------|-------|----|
| (1) 地域の人材や資源を活用した体験学習機会の充実 | | 15 |
|----------------------------|-------|----|

(2) 地域が一体となった青少年健全育成の推進	16
3. 偏見のない明るい社会づくり	
(1) 市民の人権意識を高める機会の充実	17
(2) 啓発活動の実施	17
4. 心を潤す芸術文化活動の推進	
(1) 芸術文化活動の発表機会の場づくり	18
(2) 本物の芸術・文化に触れる機会の提供	18
5. ゆとりある生涯学習の場 公民館づくり	
(1) 幅広いニーズに応じた公民館講座の開設	19
(2) 対馬の文化・魅力を活かした公民館講座の開設	19
6. 情報発信拠点としての図書館づくり	
(1) 図書館資料の充実	20
(2) 市民の読書活動の推進	20
7. 生涯・競技スポーツの普及振興	
(1) 生涯スポーツの普及・振興のための啓発活動の実施	20
(2) 競技力向上のための支援の充実	21
(3) 体育施設の整備及び有効活用	22

文化財課

◎文化遺産の保護と活用の推進

1. 指定文化財等の保存整備

(1) 史跡・名勝の整備推進	23
(2) 重要文化財等の適正な管理保存	23

2. 天然記念物の保護

(1) 天然記念物の適正な保存・保護	23
(2) 関係団体等との連携強化	23

3. 市内遺跡の調査・保全

(1) 計画的な調査の推進	24
(2) 適正な調査体制の確立	24
(3) 無許可開発行為等の防止対策の実施	24

4. 民俗文化財の調査・記録保存

(1) 有形民俗文化財の適正な管理・保管	24
(2) 無形民俗文化財の伝承保護、調査	24

5. 文化財の活用

(1) 文化財PRイベントの実施	24
(2) 子どもたちの郷土学習への寄与	25
(3) 情報発信の強化	25

○学識経験者の所見	26
-----------	----

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

1 教育委員会及び教育委員の活動

項 目		活動内容等
		点検・評価のコメント
(1) 教育委員会会議の運営改善	①会議の開催	令和5年度は10回開催した。(令和4年度 11回) 7月と9月を除く月1回、計10回の会議を開催した。教育委員会の議決を要する議案審議は遅滞なく行っている。
	②議事録の公開、広報、公聴活動の状況	令和5年度における傍聴者0人 (令和4年度 0人) 会議録を市のホームページへ掲載し、積極的な情報発信を行った。
(2) 教育委員会と事務局との連携		議案を事前に送付することで、会議の円滑な進行と十分な審議ができるよう努めている。 議案等会議資料の事前配布や電子メール等を活用し必要な情報提供を行っており、教育委員との連携は図れている。
(3) 教育委員会と市長との連携		総合教育会議を1回開催し、学校給食共同調理場の運営等について、市長との意見交換を行った。(令和4年度1回開催) 毎年1回以上は、市長との意見交換を行うように努めている。
(4) 教育機関等との連携	①学校訪問	令和5年度訪問回数 25回 (令和4年度 33回) ※教育長のみの訪問は除く。 例年、積極的に参加している運動会、卒業式、公開授業等の行事に加えて、教育長の学校ミニ訪問に同行し、校長等と意見交換を行い連携強化に努めた。
	②その他の施設への訪問、行事参加等	その他行事等参加 3回 その他各施設で行われる行事で、二十歳を祝う会、こころアクションフォーラム IN 対馬、中学校体育大会に出席し、子供たちの活躍や成長を見聞することができた。
(5) 教育委員の自己研鑽		令和5年度 2回 (令和4年度 2回) ・ 県市町教育委員合同研修会 (佐世保市) ・ 市町村教育委員会研究協議会 (佐世保市) 研修会や研究大会へ参加して他市町の教育委員との意見交換を行い、課題、検討事項の解決、研究に努めた。 また、教育関係刊行物などを購読し、情報の収集に努めた。

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

2 教育委員会が管理又は執行する事務（教育長に委任できない事務）

項 目	活動内容等
	点検・評価のコメント
(1) 教育行政の基本方針に関する こと	<p>令和3年3月に「第2期対馬市教育振興基本計画」（令和3年度から令和7年度）の策定を行っている。</p> <p>「第2次対馬市総合計画」の教育施策を総合的かつ計画的に推進するための「対馬市教育方針」や「対馬市教育大綱」ともリンクした計画を策定している。</p>
(2) 学校その他の教育機関の設置 及び廃止に関すること	<p>豊小学校の廃止について審議し、決定した。（令和6年3月31日をもって廃止。）</p> <p>統合推進計画に基づいて統廃合を行っている。</p>
(3) 予算その他の議会の議決を経 るべき議案に関すること	<p>条例の制定改廃議案 2件、その他 1件 計 3件（令和4年度 4件）</p> <p>必要な案件について、漏れなく審議を行っている。</p>
(4) 教育委員会規則の制定又は改 廃に関すること	<p>規則の制定改廃議案 5件 （令和4年度 5件）</p> <p>必要な案件について、漏れなく審議を行っている。</p>
(5) 学童児童及び生徒の就学すべ き学区の設定又は変更をする こと	<p>令和5年度末に豊小学校を比田勝小学校に統合することに 伴い、学区の変更を行った。</p> <p>学校統合協議の中で、保護者等と十分協議のうえ学区の変 更を決定し、令和5年11月30日開催の教育委員会におい て規則改正の議決を行った。</p>
(6) 県費負担教職員の懲戒及び県 費負担教職員の管理職任用そ の他進退について県教育委員 会に内申すること	<p>令和5年度 人事内申 2月委員会審議、議決 処分内申 0件 （令和4年度 人事内申 2月委員会審議、議決 処分内申 0件）</p> <p>必要に応じて実施している。</p>
(7) 教育委員会の附属機関の委員 の任免を行うこと	<p>委員の委嘱の議案 6件</p> <p>各種委員会の委員の任免、委嘱については、漏れなく審議し ている。</p>

項 目	活動内容等
	点検・評価のコメント
(8) 教科用図書の採択に関する こと	令和5年度 小学校教科書の採択替えを実施
	教科用図書は、原則として4年間同じ教科用図書を使用することになっている。令和6年度は中学校教科用図書の採択事務を行っている。
(9) 教育委員会表彰を行うこと	令和5年度表彰者 1名（令和4年度表彰者 2団体）
	教育行政に功労のあった1名に対し表彰を行った。（文化功労）
(10) 文化財の指定又は解除に関する こと	新たに条件を満たした「対州馬」4頭を対馬市天然記念物に追加指定した。
	令和6年3月31日現在、指定頭数40頭
(11) 教育部長、理事、次長、本庁 の課長及び指導主事の任免そ の他の人事に関すること	令和5年度 2件（令和4年度 1件）
	必要に応じて行っている。
(12) 人事の基本方針を定めること	特に定めはない。
(13) 県費負担教職員のサービスの監督 の一般方針を定めること	地方公務員法、教育公務員特例法及び県の条例に則って指導した。
	県教育委員会の通知・通達による指導、毎月実施する定例校長会や定例教頭会を通じた指導、服務規律強化月間の取組などを通して服務規律の徹底を図っている。
(14) 教育委員会の附属機関に対し 諮問を行うこと	該当事案なし。

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長に委任される事務）

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 安全・安心な教育環境の整備・充実	1 小・中学校施設の整備	(1) 快適な学習環境づくり	<p>○備品購入費 令和5年度 23,855千円 (令和4年度 22,726千円)</p> <p>○図書購入費 令和5年度 3,360千円 (令和4年度 3,467千円)</p> <p>○スクールバス購入費 令和5年度 7,980千円 (令和4年度 7,105千円)</p>
		(2) 児童・生徒の安全対策	<p>令和5年度工事</p> <p>○トイレ洋式化工事（2校） 24,085千円 (西小・豆殿中)</p> <p>○巖原中学校長寿命化改良工事 100,000千円</p> <p>○比田勝小学校法面保護工事 5,231千円</p>
			<p>平成30年度から計画的に小・中学校の和式トイレの一部を洋式トイレに改修する事業を進めている。洋式化率は、平成29年度末が19.5%、令和5年度末が46.1%となっている。</p> <p>巖原中学校校舎の長寿命化を目的とした外壁改修及び屋上防水層の全面改修を行っている。（2か年工事の1年目）</p> <p>比田勝小学校の裏山法面が風化してきたので児童の安全確保のために法面保護工事を実施した。（3か年工事の3年目）</p>
			<p>○維持補修事業 令和5年度 136,335千円 (災害復旧事業81,279千円（鶏鳴小学校法面災害復旧事業ほか）を含む。） (令和4年度 118,891千円)</p>
			<p>学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であり、また災害発生時には、地域住民の避難場所として重要な役割を担う防災拠点としての性格を持っており、安全安心な施設として必要な整備を実施している。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 安全・安心な教育環境の整備・充実	2 学校施設の適正配置の促進	(1)第2次統合計画の促進	<p>豆殿中学校統合に係る保護者説明会 1回 仁田中学校統合に係る保護者説明会 1回 今里小学校統合に係る保護者説明会 1回 美津島北部小学校統合に係る保護者説明会 1回</p> <hr/> <p>豊小学校と比田勝小学校の統合準備が整い、令和6年3月末をもって豊小学校を閉校した。 今後も引き続き、第2期対馬市立学校及び幼稚園等統合推進計画に沿って、年次的に統廃合を進めていく。</p>
		(2)島っこ留学の促進	<p>児童生徒の減少が著しく、複式学級が増加し学校統合が進む中、全国から留学を希望する児童生徒を留学生として受け入れ、対馬の子供や地域との交流を図ることで、複式学級の解消や学校活動の活性化、地域文化の継承や地域コミュニティの活性化を図ることを目的としている。</p> <p>ホームページや広報紙、学校の保護者会やPTA連合会主催事業等におけるチラシ配付、地区回覧等を活用して留学生及び里親の募集並びに留学制度について情報発信・周知活動を行った。</p> <p>令和5年度 ○島っこ留学推進協議会 4回（令和4年度 3回） ※うち1回は書面開催 ○留学生 1名（令和4年度 1名） ○里親 1名（令和4年度 1名） ○受入校：佐須奈中学校 ○事前視察なし（令和4年度 4家族） ※令和6年度 里親不在のため</p> <hr/> <p>一人一人の特性や個性を大いに生かした少規模校ならではの学校生活の中で、地元の子供たちと留学生がお互いに刺激を受けあい、学習面・生活面において意欲的・積極的に取り組む姿勢が見られた。学校活動の活性化につながり、充実した学校生活を送ることができた。また、留学生が部活動や社会体育に積極的に参加し、活躍する姿が見られ、チーム力の向上にもつながった。</p> <p>近年、留学生を受け入れる里親の確保が非常に困難となってきており、令和5年度に受入地域を市内全域に拡大し、各種周知活動を実施したが、令和6年度の島っこ留学に対する里親の確保ができなかった。</p> <p>留学生についても減少傾向にあったため、新たな留学制度である「孫戻し留学制度」を導入し募集した結果、6名の留学生の決定を行った。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進 ◎ 国際化に対応できる教育の推進	1 対馬を支える人材の育成	(1) ふるさと学習の充実	①新補及び転入管理職員研修会 1回開催【R4：1回】 ②初任者研修地区独自研修 1回開催【R4：1回】 ③教務主任研修会 2回開催【R4：2回】 ④ふるさと学習全体計画の作成 ①新任の管理職員や転入した管理職員を対象に教育長説示、学校教育課長による対馬市の教育概況及び教職員の服務に関する全体指導の後、担当主幹による校長・教頭別の演習を行った。また、自然・文化・歴史的な魅力や対馬のよさについて知ってもらうために対馬観光物産協会事務局長の西氏を講師に迎え、講話を実施した。 ②初任者研修では、地区独自研修として、対馬観光物産協会事務局長による「子どもたちに伝えたい対馬の魅力」についての講義と対馬博物館の見学を通して、対馬への理解を深めた。 ③第1回目の教務主任研修会において、小・中学校が連携してふるさと学習を進めるために、中学校区毎に情報交換を行った。各学校で独自のふるさと学習が実施されている。外部機関と連携した体験学習が増えている。 ④すべての小・中学校において、「ふるさと学習全体計画」を作成し、学校要覧に記載している。朝鮮通信使に関する学習内容を市内小・中学校の共通教材としている。
		(2) 国際理解・外国語教育の充実	①外国語、英語授業の小中連携 ②ALTの有効活用 ③イングリッシュ・スピーチコンテストの実施 ①市内全ての小中学校間で外国語・英語科の授業参観等を実施し、連携を図った。 ②③中学校英語科、小学校外国語科、学校行事など、ALTを有効に活用しながら生活に生きる英語・外国語の学習を推進することができた。イングリッシュ・スピーチコンテストにおいても、審査員としてALTを有効活用した。
	2 個々の学びの充実	(1) 学力向上対策	①研究指定事業 指定研究校5校【R4：5校】 校内研究推進校2校【R4：3校】 ②研究主任研修会 1回開催【R4：1回】 ③小学校複式指導法研修会 3回開催【R4：3回】 ④小学校指導法改善研修（算数）1回開催【R4：1回】 ⑤中学校指導法改善研修（社会）1回開催【R4：1回】 ⑥新任教務主任研修会 2回開催【R4：1回】 ⑦教務主任研修会 2回開催【R4：2回】 ⑧市独自の学力テストの実施 小・中それぞれ1回実施 ①指定研究校は、研究主題の実現に向けて仮説を立て、具体的な共通実践を通して授業改善が図られた。全職員が研究に関わり、協働して研究を進めたことで教職員の資質・能力も向上した。 校内研究推進校では、「ロイロノート」の共有機能を使って研究協議を行い、授業を多角的に検証することで研究を推進していた。

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進 ◎ 国際化に対応できる教育の推進	2 個々の学びの充実	(1) 学力向上対策	②研究主任研修会では、前年度の校内研究推進校2校が実践発表を行い、授業改善の実践例を紹介した。また、担当指導主事が、「研究主任の役割」と「校内研究の進め方」について講義を行い、新しい授業観について指導した。 ③小学校複式指導法研修会の1回目は、初めて複式指導を担当する教員を対象に研究授業や協議、講義を実施し、複式指導の基本について学んだ。2回目は、大船越小学校での研究授業をもとに小・中学校の教員による授業についての協議を行った。3回目は、佐須奈小での研究授業と子供の主体性を高める複式指導のあり方について指導した。 ④⑤小学校・中学校指導法改善研修では、県教育庁の指導主事を講師として招聘し、公開授業と研究協議、講師からの講義を通して、学習指導要領の実現に向かう授業改善について学びを深めた。 ⑥第1回教務主任研修会に先立ち、午前中に新任教務主任のみの研修を行った。講義と研究協議により、教務主任としての基本的な職務と役割を指導した。 ⑦第1回目では、カリキュラム・マネジメントへの関わり方について指導し、班別協議で情報共有と意見交換を行った。 第2回目では、年度末と年度始めの提出物を確認すると共に、年度末までに行う教務主任の業務を確認した。その後、班別協議で情報交換を行い、中学校区ごとに次年度の行事や連携について情報交換を行った。 ⑧小学校3・4年生は12月、中学校1年生は1月に実施し、調査結果の基づき各学校の学力向上を図った。
		(2) 特別支援教育の推進	①特別支援教育研修会 1回開催【R4：1回】 ②新任特別支援教育コーディネーター研修会 1回開催 ③特別支援教育コーディネーター地区別研修会 1回開催 ④教育支援委員会 2回開催【R4：2回】 ⑤対馬市教育相談会 2回開催【R4：2回】 ⑥介助員研修会 1回開催【R4：1回】 ⑦特別支援学級、幼稚園、保育所等訪問（幼稚園・保育所14園訪問）
			①特別支援教育研修会は、長崎大学子どもの心の医療・教育センター、虹の原特別支援学校高等部対馬分教室、学校教育課からそれぞれ講義を行った。 ②新任特別支援教育コーディネーター研修会では、SSWの講義や他校の実践発表を聞き、自校の実践に生かそうと意欲的な取組が見られた。各校の特別支援教育のリーダーとして、必要な知識やスキルを学べる内容を伝達しているので、校内研修等を活用して、全職員に伝達してもらうようにしている。 ③特別支援教育コーディネーター地区別研修会は、上地区と下地区で実施した。幼・保・小・中・高の異校種のコーディネーターが情報交換をすることで、縦の連携の大切さを改めて実感したり、今後のよりよい連携の在り方についても協議ができたし、意義のある研修となっている。今後も園や学校のニーズに応じた研修会を企画していく。

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進 ◎ 国際化に対応できる教育の推進	2 個々の学びの充実	(2) 特別支援教育の推進	<p>④⑤次年度の就学等、配慮を要する児童生徒についての協議や教育相談を行った。年々、個別の指導を望む保護者が増加しており、必要な情報を適切に提供する必要がある。</p> <p>⑥介助員研修会は、初めて介助員として勤務する方を対象に実施している。毎年、熱心に参加される介助員が多い。班別協議では、それぞれの学校（園）で行っていることや悩み等を共有し、有意義な時間となっている。</p> <p>⑦学校訪問等で特別支援学級における授業の様子や支援の在り方を参観し、指導助言を行った。また、保健師、各地区の就学担当者とともに、保育所、幼稚園、こども園訪問を行い、未就学児の情報を共有し、教育相談につなげることができた。</p>
		(3) ICT教育の推進	<p>①小学校複式指導法研修会※再掲</p> <p>②研究指定事業※再掲</p> <p>③指導主事の訪問指導</p> <p>④対馬市教頭研修会</p> <hr/> <p>①第3回の研修会において、ICTの活用方法等についての講義を行った。</p> <p>②校内研究推進校において、ICT機器の積極的な活用が図られた。</p> <p>③小学校3校、中学校1校を指導主事が訪問し、校内研修で実践指導を行った。</p> <p>④教育環境整備に関する課題をテーマにICTの効果的な活用による業務改善について研究発表を行い、市教委主幹が指導助言を行った。</p>
	3 自己実現を目指す子供の育成	(1) 生徒指導の充実	<p>①生活指導主任・生徒指導主事研修会 2回開催 【R4：2回】</p> <p>②SSW・SCの活用</p> <p>③教育支援センターの運用 利用者延べ人数143名【R4：205名】</p> <hr/> <p>①第1回は、生徒指導提要改訂のポイントについて説明を行った。第2回は、授業や学校生活の場面における、生徒指導的視点からの支援の在り方について説明した。演習・班別協議では、小中それぞれのいじめの事例を提示し、個人で具体的な対策を考えた後、グループで意見を共有した。</p> <p>②SSWについては、1名を1校に配置し、配置校以外で48回の派遣実績であった。SCについては、令和5年度スクールカウンセラー配置事業により全校に配置。相談件数は増加傾向にあり、令和6年度は配置時間を調整して対応している。</p> <p>③年度当初は、小学生1名・中学生5名の在籍6名でスタートした。小学生1名と中学生3名は、学校に登校できるようになり、実質2名が定期的に通所した。11月に新しく小学生が1名通所するようになった。入所希望の相談や面談はあるものの、本人が行動を起こせなかったり、保護者が仕事で送迎できなかったりで、入所者がなかなか増えない現状である。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進	3 自己実現を目指す子供の育成	(2) 道徳教育の推進	<p>①道徳教育パワーアップ研究協議会【3回】 ②道徳教育推進研修（NITS オンライン研修）6講義 ③道徳教育パワーアップ研究協議会【冬版1回】</p> <hr/> <p>①②③それぞれの研修会で、著名な講師による講演や実践発表が盛り込まれており、道徳科に関する最新情報を得ることができる貴重な機会となっている。</p>
		(3) 人権・平和教育の推進	<p>①人権教育担当者研修会 ②第47回長崎県人権教育研究大会（対馬市大会）</p> <hr/> <p>①各校から担当者が参加し、実施した。 ②令和5年度は対馬市大会ということで、4回の事務局会および実行委員会を開き、準備から当日の運営までを行った。島内外から700名を超える参加があり、教職員をはじめ、多くの参加者にとって、人権感覚を磨くことができる貴重な会となった。その一方で、実践発表や講演の内容が教員向けのもが多かったため、保護者や一般市民にとってもわかりやすいテーマや内容にすることも大切だったという反省があがった。</p>
◎ 国際化に対応できる教育の推進	4 健やかな体を持つ子供の育成	(1) 体力向上対策	<p>①令和5年度長崎県令和の日本型学校体育機構支援事業 体育学習アドバイザー派遣事業 場所：美津島北部小学校 参加者：対馬市小学校教育研究会体育部会部員（14名） 指導助言及び講義：長崎県教育庁体育保健課 指導主事</p> <hr/> <p>①研究授業では、運動嫌いな児童が目立つことなく楽しく活動している姿が見られた。また、体づくりの研究授業と指導主事からの講義で、体づくりのポイントや行い方、学習指導要領をしっかりと読み込むことの大切さを学ぶことができた。</p>
		(2) 健康教育の推進	<p>①保健主事研修会 1回開催【R4：1回】 参加者：養護教諭及び保健主事（38名） ②養護教諭研修会 2回開催【R4：1回】 参加者：養護教諭（27名）</p> <hr/> <p>①②保健主事研修会と養護教諭研修会を合同で開催した。令和4年度健康教育指導者養成研修受講者から「学校におけるアレルギー疾患への対応」をテーマに、アレルギーの症状や対応の仕方について伝達をいただき、エピペンの使い方やアナフィラキシーの初期対応について学ぶことができた。講義では、日本における自殺の現状や、こどもの発するSOSサインなどが紹介された。学校の先生や家族がゲートキーパーとしての意識をもって話を聞き、自殺予防につなげることの重要性を学んだ。保健主事の今後の研究推進につながる良い機会となった。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進 ◎ 国際化に対応できる教育の推進	4 健やかな体を持つ子供の育成	(2)健康教育の推進	②第2回は、「性の指導」について、厳原支部がこれまでに積み重ねてきた授業実践や教材などを紹介し、研究協議を実施した。研究協議では、「養護教諭がかかわる効果的な保健指導」という視点のもと、協議を行った。指導助言では、「性の指導」における注意点と校内や家庭との連携について指導した。講義では、悪い姿勢が体と心に及ぼす影響について説明し、学校において子供たちの姿勢を改善するための手立てを紹介した。
		(3)食育と学校給食の充実	①栄養教諭・学校栄養職員・食育担当者研修会 参加者：栄養教諭、学校栄養職員、食育担当者（31名） ②学校給食事務関係 (1)地場産物使用状況調査を2回実施（11月・2月） (2)学校給食用食材定期点検2回実施（7月・9月） (3)学校給食栄養報告を2回実施（6月・11月） (4)学校給食会に関すること ○委託料213,100千円（給料・需用費・役務費等） ○共同調理場 6施設 ○職員数 52名 ○理事会2回開催（5月・2月） ○会計監査の実施（5月・7月・10月・2月） ①研究発表では、長崎県健康教育研究協議大会で発表予定の先生方に、地場産物活用推進の手立てについて紹介いただき、地産地消についての意識を高めることができた。講義では、市の健康増進課が調査を行っている「早寝早起き朝ごはん」調査の結果をもとに、市の食育の状況や目標について確認を行った。班別協議で意見を出し合うことで、食育を推進させていく意欲を喚起することができた。 ②安全・安心な学校給食の提供のため研修等を通じて職員の意識向上に努めた。市補助を受けて対馬産農水産物の利用促進に努めた。今後、更に利用を促進するために関係課・機関と連携を図っていく。
	5 ICTを活用した教育の充実	(1)端末活用の推進	①ICT活用関連研修会 ・初任者研修 ※再掲 ・研究主任研修会 ※再掲 ・複式指導法研修会 ※再掲 ・指導主事の訪問指導 ※再掲 ②ロイロノート活用研修会 ③対馬市ICT研修会(タブレット端末操作・eライブラリ) ①各種研修の中でタブレット端末の活用推進に向けた実践研修を実施した。 ②8月に初任者研修と兼ねて、ロイロノートを授業や学級活動等で効果的に活用するための研修を行った。 ③NTTdocomo 主催で、タブレット端末の基本的な操作についての研修と、AIドリルの効果的な活用方法についての研修を、専門家を招聘して実施した。

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進 ◎ 国際化に対応できる教育の推進	6 その他	(1) 経年研修の実施	<p>①初任者研修（連絡研修、地区独自研修、教科研修、教科外研修、課題研修）6回開催【R4：5回】</p> <p>②中堅教諭等資質向上研修 2回開催【R4：2回】</p> <hr/> <p>①地区独自研修として観光物産協会事務局長の講話と対馬博物館の見学及び所蔵資料の説明により、対馬の魅力と歴史の理解促進を図り、長崎県への郷土愛を高めた。教科外研修を1日日程で実施した。1学期の学級経営を振り返り、2学期以降の学級経営について見通しを持つとともに、対馬市SSWの宮野先生による特別支援教育に関する講義で、配慮を要する児童生徒への関わり方について理解を深めた。教科研修では、小・中学校各1名の代表初任者が授業を公開し、研究協議を通して授業力の向上を図った。</p> <p>②第1回では、講話に基づき個人演習を行った。自校における自己の立場や高めるべき資質・能力について確認し、研修計画を立てた。第2回は初任研と合同で実施し、実践研究の成果を発表した。教育長の講話・説示からミドルリーダーとしての自覚を高めることができた。初任者との連携研修では、異校種・異教科の初任者への授業提供と授業作りについての助言を通して、学校経営への参画意識を高めた。</p>
		(2) 管理職員研修の実施	<p>①新補及び転入管理職員研修会 1回開催 ※再掲</p> <p>②市校長会 2回開催【R4：2回】</p> <p>③市校長研修会 1回開催【R4：1回】</p> <p>④定例校長会 12回開催【R4：12回】</p> <p>⑤教育長・校長合同研修会 1回開催【R4：1回】</p> <p>⑥市教頭会 2回開催【R4：2回】</p> <p>⑦市教頭研修会 1回開催【R4：1回】 ※再掲</p> <p>⑧定例教頭会 8回開催【R4：7回】</p> <hr/> <p>①1.(1)ふるさと学習の充実①に同じ。</p> <p>②市教委の事業計画や実施総括について、各学校との相互理解と相互協力を確認する場となった。市教委と市校長会とが連携し、よりよい教育行政及び学校経営のために必要な会議である。</p> <p>③美津島支部が、「地域との連携・協働のあり方」をテーマに「目標・ビジョンの共有」「カリキュラム・マネジメントの推進などを視点に校長がどのように役割を果たすべきかについて実践発表を行った。</p> <p>④市教委からの指示・指導及び、市校長会との共通理解を図る場となっており、学校教育の充実につなげるために、次年度も同様に計画する。必要や要請に応じて外部団体からの時間も確保している。校長会と連絡を取り合いながら、次年度以降も外部からの要請には極力応えていく。午後からは校長会の計画により、全体会、支部校長会、各専門部会等が開かれ、有意義な研修の場となっている。</p> <p>⑤人事関係説明会では、県教委の地区担当者が次年度からの人事異動の基本方針の変更点を中心に令和6年度人事異動の基本方針や要領について説明した。市教委は対馬市独自の関係資料を準備し、定例校長会にて説明した。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進 ◎ 国際化に対応できる教育の推進	6 その他	(2) 管理職員研修の実施	⑥ 市教委の事業計画や事業総括について説明することを通して、理解と協力、評価を得る場となっている。施策等の周知及び教育行政と各学校の情報交換を行うことにより、管理職員としての意識の高揚を図った。 ⑦ 厳原支部からの研究発表では、学校運営業務におけるICTの効果的な活用についての実践が紹介されるとともに、教頭の役割や更なる業務改善の推進に向けての提言があった。また、研究発表に対して、市教委主幹が指導助言を行った。講演では、V・ファーレン長崎 取締役兼C.R.O高木琢也氏から「生涯学び続けることの意味」というテーマで講演があり、生涯学習への意識を高めることができた。 ⑧ 市教委からの指示・指導、連絡等を周知することができた。ミニ研修は、管理職として職務遂行に必要な実務的な研修になるよう内容を工夫した。午後は、教頭会の全体会、支部会等を開催し、研究テーマに沿った研修が行われた。また、学校間の情報交換の場として重要な会となっている。
		(3) 学校訪問	① 新任校長校訪問 1回 小学校2校 中学校2校 【R4：各校1回 小学校1校】 ② 学校経営研究訪問 各校1回 小学校3校、中学校2校 【R4：各校1回 小学校3校、中学校3校】 ① 新任校長校が経営訪問に当たっている学校が1校あり、新任校長校訪問としては4校となった。1学期中に設定し、市教委の全指導主事が参加して、より充実した経営につながるよう支援を行った。校長は詳しい資料を準備し、自校の経営状況等に関し丁寧に説明を行った。自校の課題解決に向けた取組がなされ、新任校長としての意欲が感じられた。訪問については年1回の実施とし、改善点を文書により報告することとしている。校長が訪問時の指導事項に対する改善に取り組んできたことが確認できた。経営状況に課題がある学校については、その都度担当が訪問し、指導をする等の対応をすることで、よりきめ細かい指導ができるものと考えている。どの学校も環境整備がなされており、児童生徒が安心して学べる学校づくりが進められていた。 ② 新任校長校の学校経営研究訪問が1校あり、計5回の訪問を実施した。各校1時間の授業参観を行い、教科等指導員等の協力を得て、1対1の充実した授業研究を行うことができた。学校教育目標の具現化に向け、教職員と共通理解を図りながら教育活動が推進されていることが把握できた。また、各学校でそれぞれの実態に合った特色ある取組が展開されていた。教科等指導員等の先生方からは、懇切丁寧な指導をしていただいた。

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎ 確かな学力・豊かな心を育てる学校教育の推進</p> <p>◎ 国際化に対応できる教育の推進</p>	6 その他	(4) 幼稚園・こども園教育の充実	<p>① 経営訪問 1回 1園 【R4：未実施】</p> <p>② 園長会 4回開催 【R4：4回】</p> <p>③ 合同研修会 2回開催【R4：2回】</p> <p>④ 主任研修会3回開催【R4：3回】</p> <p>⑤ 保育指導法に関する研修会</p> <hr/> <p>① 4年サイクルで実施しており、令和5年度は、厳原幼稚園へ訪問した。</p> <p>② 市教委から指導・連絡を行った。市教委と各園長との共通理解を図り、機能の充実、環境整備、教員の資質向上等に向けての協議ができた。各園の連絡調整、情報交換を図る意味でも有意義な会となった。</p> <p>③ 第1回は、対馬市の幼児教育の現状及び幼稚園教育の基本方針、重点事項、事業等の共通理解を図り、幼稚園・こども園の教職員としての自覚をもって、職務を遂行することを確認できた。第2回合同研修会では、S S Wを講師に招き、発達障害とその特性について学び、受講した先生方は、講義内容をもとに積極的に質問をするなど、意欲的に取り組んでいた。また、講義で学んだことを即実践に生かせる演習内容となっており有意義な研修であった。</p> <p>④ 第1回では、主任としての職務、関わり方、悩み、また教育課程の編成等の情報交換を行うことで、主任としての自覚と責任をもって職務を遂行するよう指導した。第2回は、「幼・小合同研修会」と兼ねて行った。幼小連携を図るために、講義・協議・情報共有を行った。第3回は、園内研修について講義を行った。また、主任としてのこの1年間を視点ごとに振り返る講義・演習を行い、今年度の成果を確認し、共通する悩みや課題を共有することで、来年度への教育実践の意欲を高め合うことができた。互いの園教育に刺激を受けながら、励まし合い、園のリーダーとしての自覚を深める研修となっている。</p> <p>⑤ 対馬市研究指定園（令和4～6年度）として、厳原幼稚園が保育研究を行っている。中間指導を実施し、保育参観や研究に係る計画等について指導助言を行った。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	1 生涯学習を推進するための体制づくり	(1)各機関や社会教育団体との連携体制づくり	<p>■各団体との積極的な情報交換 各団体が実施する事業等に積極的に参加し、情報交換等を行うことで、連携体制づくりに努めた。</p> <p>○PTA関係 対馬市幼・小・中・高合同PTA研修大会 ：11月12日（日） 市PTA連合会との教育懇談会：11月29日（水） 市PTA連合会との教育連絡会：2月26日（月）</p> <p>○青少年健全育成関係 ココロねっこ指導員等講習会：10月31日（火）</p> <hr/> <p>市PTA連合会との教育懇談会及び教育連絡会を実施し、情報交換を行うことで、連携体制づくりにつながった。今後は、市内の各団体との情報交換を行う機会を増やし、各団体等の横断的な連携やネットワークづくりに努める。</p>
		(2)各社会教育団体への支援	<p>■運営費等補助金の支給 市内各社会教育団体への支援として、運営費・活動費の補助金を支給した。</p> <p>○補助総額：4,310千円 ○補助団体：対馬市青少年健全育成連絡協議会 対馬市PTA連合会 対馬市文化協会 対馬市青年団 厳原町婦人会連絡協議会 対馬市人権教育研究会</p> <hr/> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、計画していた活動が実施でき、コロナ禍以前の状態に戻りつつある。 各団体の人員も少なくなっているが、今後は補助金の支給だけに留まらず、各団体の活動の活性化につながる生涯学習関係情報の共有等を積極的に行い、支援の充実を図る。</p>
		(3)社会教育施設の整備・充実	<p>■市民が利用しやすい環境の整備 公民館等の修繕や設備の更新など、施設の整備を行った。 ○施設等の修繕料：4,180千円、工事請負費：6,820千円 [主な内容] 豊玉文化会館・対馬市公会堂・豊玉町郷土館消防設備改修 上対馬総合センター非常用発電設備改修 厳原地区公民館分館ありあけ会館小便器取替 美津島文化会館大会議室空調設備改修工事</p> <hr/> <p>各町公民館等の老朽化が進み、施設や設備の修繕が必要な箇所が増加傾向にあり、施設全ての修繕は困難であるが、緊急性のある修繕を対処した。 今後も、市民が安心して利用できる施設の維持のため、計画的に改修・修繕を行っていく。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	<p>2 郷土を愛する『つしまっ子』の育成</p>	<p>(1)地域の人材や資源を活用した体験学習機会の充実</p>	<p>■地域子ども教室推進事業の実施</p> <p>安心・安全な子どもたちの居場所をつくるため、地域子ども教室を地域の人材と連携しながら実施した。</p> <p>○地域で子育てを楽しむ会（厳原小学校区）</p> <p>開催回数：2回</p> <p>参加人数：681人（571人+110人）</p> <p>内容：ハロウィンイベント、マジックショーの鑑賞会</p> <p>○大船越小学校放課後子ども教室（大船越小学校区）</p> <p>開催回数：190回</p> <p>登録人数：37名（延べ2, 599人参加）</p> <p>内 容：学習指導、クラフト工作など</p> <p>○西小学校放課後子ども教室（西小学校区）</p> <p>開催回数：13回</p> <p>登録人数：39名（延べ473人参加）</p> <p>内 容：クラフト・読み聞かせ・スポーツ活動等</p>
			<p>コロナ禍以前の活動に近い事業を実施し、子どもたちの居場所づくりのために、各小学校区において協働活動に取り組み、参加者も増えた。</p> <p>今後は、従来からの課題である地域の人材確保に取り組みながら、市内の小学校区での、新たな子ども教室の設置について検討を進めていく必要がある。</p>
			<p>■しまのリーダーチャレンジ事業の開催支援</p> <p>離島地域の次世代のリーダーを育成するため、県内の離島に住む小学生が集まり、SDGsを推進する企業や大学の訪問など、多様な学びや体験の場を創出し、本県の魅力を発見・実感し、誇りや愛着を深めるとともに、ふるさとを担っていく意欲やリーダー意識を高める機会を提供した。</p> <p>※県の主催事業であるが、参加者の募集等の事業運営に協力</p> <p>○開催日：8月1日（火）～3日（木）</p> <p>○参加者：40名（うち対馬市からの参加者11名）</p> <p>○内 容：長崎スタジアムシティプロジェクト、県内企業の見学、大学生との交流・意見交換</p> <p>参加者同士のワークショップ</p>
			<p>参加者事後アンケートにおいて、「長崎県のミライは一人では作れないので、みんなで協力したい」、「SDGsに取り組む大学生の姿がとてまかつこよく、私も世界をよくするためにできることをしたい」などの回答があり、新しい人間関係を築き、様々な体験を通して視野を広げ、今までとは違った視点を持つ機会となり、これからのふるさと「ミライ」を考え、主体的に関わっていこうという意欲づくりにつながったと考える。</p> <p>今後も継続して、事業の開催支援を行うことで、子ども体験学習の機会を設け、対馬のリーダー育成につなげたい。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進 ◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興 ◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進	2 郷土を愛する『つしまっ子』の育成	(2)地域が一体となった青少年健全育成の推進	■第1回こころアクションフォーラム i n 対馬の開催 □つしまっ子の主張（第23回対馬少年の主張作文発表） □つしまっ子のこころ（中学生人権作文発表） 昨年度まで、別々開催の「対馬少年の主張大会」、「じんけんを考えるつどい i n 対馬」を共同開催として実施することで、より多くの市民に対して青少年の健全育成、人権に関する意識を醸成する機会として開催し、少年の主張は各中学校の代表者11名、人権作文は1名が発表を行った。 ○開催日：11月26日（日） ○場 所：対馬市公会堂 ○成 績：最優秀賞 久田中学校 2年 小島 希々花さん 優 秀 賞 比田勝中学校 2年 扇 萌杏さん 優 良 賞 東部中学校 2年 宮本 真有さん
			新たな取組として、「対馬少年の主張大会」と「じんけんを考えるつどい i n 対馬」を合同で開催したことで参加者も増え、より多くの市民に青少年の健全育成や人権に関する意識を醸成できた。 少年の主張発表とじんけん作文発表の順序や開催時間等の課題もあり、今後改善点を見直し、より良い大会となるように努めたい。
			■家庭教育学級の開催 同じ世代の子育てをする親の悩みなどを相談・共有できるコミュニティ形成を支援することを目的として、レクリエーション活動や体験活動を実施した。 ○参加対象：厳原幼稚園の保護者・園児 ○料理教室 開催日：7月13日（木） 参加者：15名 内 容：ろくべい作り ○料理教室 開催日：10月24日（火） 参加者：11名 内 容：みそ作り
			保護者間や家族間の交流が希薄になっている現状において、本事業を開催したことで、交流が生まれ、子育てにおいて重要な幼少期の家庭教育支援の情報共有や取組が継続的に実施されており、その効果は大きな意味を持つと考える。 また、長年、厳原幼稚園を対象に継続している事業であることから、今後、市主催事業としてではなく、市が事業に関わりながらも、自主的な事業として継続する方法や、参加できない方への支援についても検討が必要である。

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進 ◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興 ◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進	3 偏見のない明るい社会づくり	(1) 市民の人権意識を高める機会の充実 (2) 啓発活動の実施	<p>■こころアクションフォーラム in 対馬の開催 昨年まで「じんけんを考えるつどい in 対馬」として単独で開催していたが、今年度は、「対馬少年の主張大会」との合同開催として、市民の人権意識の向上を図るとともに、一人でも多くの市民に、人権について考えるきっかけをつくることを目的として開催した。</p> <p>○開催日：11月26日（日） ○会場：対馬市公会堂 ○参加者数：約186人 ○内容： ・中学生人権作文発表と掲載 灘知中学校 3年 西倉 由來さん（発表） 東部中学校 2年 福田 千乃さん（掲載） ・講演会：講師 吉村 春生氏 テーマ 「心がかぜをひくとき」</p>
			<p>人権運動の取組や人権作文の発表は、子どもの人権に関する考えを参加者に聞いていただくことで人権意識向上の機会となった。</p> <p>また、講演会では、吉村氏が「心のSOSとストレス」、「心の健康を育むポイントとは」、人は「安心感」が供給されると自己成長力・自己治癒力が沸き、甘えられる相手がいる人は幸せな人で、甘えられる環境や何かに夢中になることで、こころの空き容量を確保することにつながる等、ユーモアを交えながらの講話を聞くことができ、人権の尊重について深く考える機会となった。</p>
			<p>■第47回長崎県人権教育研究大会 温もりと心の豊かさが実感できる人権尊重社会の実現をめざして、県内の人権教育・啓発に関する実践報告や講演等を通して、県民に部落問題をはじめとする様々な人権問題を知る機会をつくとともに、その課題解決の方向性を見出す。</p> <p>○大会テーマ 「人権文化に満ちた豊かな地域社会を実現しよう」 ～現在、そして未来をじぶんらしく生きるために確かな学びを～</p> <p>○開催日：令和5年8月2日（水）・3日（木） ○講演：演目「退職校長のひとりごと」 講師：福永 宅司氏 （子どもの学び館 代表・元小学校教諭・元大学講師）</p> <p>○場所：対馬市交流センター ○内容：1日目は開会行事と全体会での基調講演、2日目は、4つの分科会を実施</p>
			<p>今回、長崎県の大会が対馬市で開催され、1日目の参加者が362人、2日目が296人と多くの参加者があり、全体会での講演や、分科会での発表や意見交換等を行ったことで、人権についての問題を知り、改めて人権尊重についての確認の機会となった。</p> <p>今後、この研究大会に、もっと多くの一般の方の参加者が増える仕組みづくりの必要性を感じた。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	4	<p>(1) 芸術文化活動の発表機会の場づくり</p>	<p>■第20回対馬市民美術展の開催</p> <p>市民の芸術活動の発表の場として、市内の2会場で美術展覧会を開催した。</p> <p>○出展内容：全6部門の作品 絵画・書・デザイン・彫刻・工芸・写真 ※特別展示として、中学生・高校生作品も展示</p> <p>○出品数：157点（特別展示作品も含む）</p> <p>○会場：対馬市交流センター（前期） 上県地区公民館（後期）</p> <p>○来場者数：578人</p>
			<p>出展作品数や来場者は、ほぼ昨年同様であったが、作品を作る方の文化芸術活動の発表の場として、また、市民が文化芸術に触れる貴重な機会を提供できた。</p> <p>今回は、第20回目の市民美術展であり、20年間出展いただいている方への表彰を実施できたことも、長年出展いただいた方への感謝と敬意を表せた。</p> <p>■各町文化祭の開催支援</p> <p>各町文化協会等主催の文化展・文化祭（芸能発表会）の開催支援を行った。</p> <p>○開催日時</p> <p>厳原町：11月 5日（日） 美津島町：11月 3日（金） 豊玉町：11月 4日（土）～ 5日（日） 峰町：10月28日（土）～29日（日） 上県町：11月11日（土）～12日（日） 上対馬町：11月 4日（土）～ 5日（日） ※上対馬町と上県町の文化発表会は11月5日（日）合同開催</p> <p>地域で活動する文化団体や芸術団体にとって、日頃の活動の成果を発表できる貴重な機会として実施されており、今後も継続的な開催支援を行っていききたい。</p> <p>しかし、地域の担い手が減少している状況もある。今後も持続可能な事業とするため、文化祭の運営方法の見直し（2町での合同開催等）を継続して検討していく。</p>
		<p>(2) 本物の芸術・文化に触れる機会の提供</p>	<p>■県補助金等を活用した事業の開催</p> <p>○長崎県青少年劇場</p> <p>開催日：10月16日（月）～17日（火） 会場：上対馬総合センター 対馬市公会堂、対馬市交流センター</p> <p>内容：古典芸能 大蔵流山本会 青少年用 「狂言」 鑑賞会</p> <p>鑑賞者数：852人（3会場合計）</p> <p>県の補助事業等を活用した事業を市内で開催することで、本物の芸術・文化に触れる機会を提供できた。今後も県の助成等を有効活用し、更に芸術・文化活動への興味を醸成し、活性化に繋げたい。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	4	(2)本物の芸術・文化に触れる機会の提供	<p>■自主公演事業の開催 市が主催し、公演事業を開催した。 【国境マラソンでのマラソン教室及び前日トークショー】 ○開催日：6月24日（土）トークショー（対馬市交流センター大会議室） 6月25日（日）マラソン教室（三宇田浜） ○講師：2代目「山の神」柏原竜二氏、元日本代表マラソン選手 加納由里氏 ○参加者：トークショー 62名</p> <p>【島田洋七一座がばい爆 SHOW 講演】 ○開催日：2月18日（日） ○会場：対馬市交流センターイベントホール ○参加者：256名</p>
	5	(1)幅広い年齢層のニーズに応じた公民館講座の開設 (2)対馬の文化・魅力を活かした公民館講座の開設	<p>■各地区の人材を活用した公民館講座（教室）の開催 各地域の人材等を活用した公民館講座を企画・開催した。 ○開催した公民館講座（全28講座） ・ヨガ・絵画・健康体操・洋裁・料理・筆飾り文字 ・ダイエット・パッチワーク・対馬の歴史・箏曲 ・親子でピザ作り・お菓子作り・韓国料理・陶芸 ・ストリートダンス・相続登記・エコクラフト・二胡 ・布ぞうり・布スリッパ・木工・ピラティス ・日本舞踊・親子粘土細工</p>
			<p>対馬市の一大イベントである国境マラソンの参加者にとって、有名なランナーからの指導を受けられる貴重な機会となり、2人の講師の経験を交えた楽しいトークショーにより、国境マラソンの今後の発展や、対馬の魅力発信にも繋がった。 また、島田洋七一座の講演においては、市民が抱える日頃のストレスを笑いによって発散する貴重な場として、事業を実施した。今後は、今の対馬市民のニーズを把握し、講話のテーマや内容について、講師等との調整を綿密に行うことで、よりよい事業の提供に努めたい。</p> <p>各地域の人材を活用した公民館講座を企画し、実施できたが、趣味的内容の講座に偏っていることが継続的な課題である。今年度は、対馬の歴史に関する講座も実施できたことは、良かった点であった。 また、対馬市でも取り組んでいる、社会課題等を取り上げたSDGs関連講座の必要性も感じており、今後も新たな講座の開設に取り組んでいく必要がある。 難しい内容の講座は受講者が集まりにくい状況もあるため、難しい内容の中にも、楽しんで受講してもらえる工夫も必要であり、今後も公民館講座の改善と一人でも多くの受講者の獲得に努めたい。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	6 情報発信拠点としての図書館づくり	<p>(1) 図書館資料の充実</p> <p>(2) 市民の読書活動の推進</p>	<p>■ 図書資料の充実と効果的な啓発活動の実施</p> <p>明るく、親しみやすい施設として、市民が気軽に図書施設を利用できるよう次のような事業等を実施した。</p> <p>○ 図書資料の購入 図書購入費 3,481 千円 購入冊数 2,366 冊（6 地区合計） （内訳：一般図書 1,050 冊、児童図書 1,316 冊）</p> <p>○ 学校移動図書の実施 小学校 10 校へ年 3 回学校移動図書を実施した。</p> <p>○ 図書館まつりの実施（開催日 10 月 21 日） 10 月第 3 土曜日を「図書館まつり」とし DVD の上映会、読み聞かせ、環境省ツシマヤマネコ野生順化ステーション協力のもとヤマネコ教室などを実施した。</p> <p>○ つしま図書館の啓発活動 市報・CATV・ホームページを活用し、図書館事業、新刊及び蔵書本等を紹介した。</p> <hr/> <p>行動制限が解除されたことで、「図書館まつり」をはじめとするイベントも従来どおり実施することができ、12 月には累計来館者 100 万人を達成、記念セレモニーも実施できた。</p> <p>また、長年課題として挙げられていた学校移動図書の更新も段階的に行うことができ、児童からの反応も上々であった。</p> <p>今後も、各地区公民館図書、学校移動図書の更新を計画的に行うとともに、読書活動の推進に積極的に取り組んでいきたい。</p>
	7 生涯・競技スポーツの普及振興	<p>(1) 生涯スポーツの普及・振興のための啓発活動の実施</p>	<p>■ スポーツ推進委員等と連携した生涯スポーツの普及・啓発活動</p> <p>○ スポーツ大会・教室の開催実績</p> <p> 巖原町：巖原フロアカーリング大会、水泳教室 美津島町：みつしまフロアカーリング大会 豊玉町：スポーツ教室、シーカヤック・サップ教室 峰町：フロアカーリング教室 上県町：雲仙アズマクロス教室 上対馬町：比田勝小・豊小合同スポーツイベント</p> <p>○ スポーツ推進委員研修会 開催日：9 月 2 日（土） 会 場：美津島文化会館 他 内 容：事例発表：「生涯スポーツの普及を目指して」 巖原地区スポーツ推進委員 講義：「スポーツ障害とその予防」 講師：佐々木整骨院 取締役 佐々木 旭 氏 実践発表：「パークゴルフ」 美津島地区スポーツ推進委員</p> <hr/> <p>人口減少や高齢化により、各地区スポーツ教室の参加者が少なくなっているが、ニュースポーツの情報発信やスポーツ教室を継続して行い、市民の健康とスポーツの楽しさを伝えるための活動は大いに評価できる。</p> <p>今後は、各町単位での実施のみでなく、2 町合同実施や内容の検討を行い、参加者の増加に取り組むことで、一人でも多くの市民へ生涯スポーツの楽しさを伝える活動を継続することが重要である。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	7 生涯・競技スポーツの普及振興	(2) 競技力向上のための支援の充実	<p>■スポーツ活動振興費補助金による活動支援</p> <p>○県大会等に参加する際の旅費補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生～高校生対象補助 実績額 21,717 千円 (250 件) ※子ども夢づくり基金を活用 ・大人対象補助 実績額 3,942 千円 (33 件)
			<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、大会等が予定どおり開催されるようになり、令和4年度と比較して補助実績額も1,858千円増加した。市民からの申請内容も多岐にわたり、今後は補助金等の支出基準等も見直しながら、特に小中高生への技術力の向上や人材育成のため、継続的な支援を行っていききたい。</p>
			<p>■運営費等補助金の支給</p> <p>対馬市スポーツ協会への支援として、運営費・事業費の補助金を支給した。</p> <p>○補助総額：19,300千円</p>
			<p>新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、予定通り事業が実施できた。協会への補助金の支給により、各競技団体等の活動の活性化や競技力向上に向けた取組を支援することができた。</p>
			<p>■各競技団体等と連携した事業の開催</p> <p>○対馬市スポーツ協会主催事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対馬島民体育大会（陸上競技） 開催日：7月9日（日） ・対馬島民体育大会（球技・武道） 開催日：8月27日（日） ・対馬縦断駅伝大会 開催日：12月17日（日）
<p>日頃の練習の成果を発揮する大会として、大きな目標としている大会である。球技・武道については4年ぶりに開催でき、各大会ともコロナ禍以前の盛り上がりを取り戻しつつある。しかしながら、人口減少により競技者が少なくなっている現状があり、今後は、スポーツの魅力の情報発信や、技術力の向上だけでなく、誰もがスポーツに関われる環境づくりにより、競技者を増やす取り組みをスポーツ協会とともに検討していききたい。</p>			
<p>■プロスポーツチーム等と連携した事業の開催</p> <p>○V・ファーレン長崎との連携事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業名：パブリックビューイング 開催日：令和5年5月13日（土） 場所等：対馬市交流センター 77名参加 2. 事業名：対馬市サンクスマッチ 開催日：令和5年5月27日（土） 場所等：トランスコスモスタジアム（諫早市） 内 容：市PRブース出展、市長挨拶、小学生招待 			
<p>V・ファーレン長崎との連携によるサンクスマッチでは、小学生を招待し、キックオフ前のセレモニーでの子どもたちによる市旗掲出やフラッグベアラーを実施でき、直接プロサッカー選手との触れ合いやプロの試合を観戦する機会をつくることができたことは、参加した子どもたちに夢や希望を与える素晴らしい機会を提供できた。</p> <p>今後も、V・ファーレン長崎との連携を深め、新たに長崎ヴェルカと連携した事業にも取り組んでいく。</p>			

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
<p>◎一人一人が生きがいを持ち、地域づくりにつながる生涯学習の推進</p> <p>◎心身の健康と活力を育てるスポーツの振興</p> <p>◎お互いの心と命を思いやる人権教育の推進</p>	7 生涯・競技スポーツの普及振興	(2) 競技力向上のための支援の充実	<p>■しまのスポーツ活性化実行委員会の設立、開催事業 「市民それぞれのライフステージや目的に応じてスポーツに親しみ、健康で活気あふれる持続可能な島」を目指す。 プロスポーツクラブ：V・ファーレン長崎、長崎ヴェルカ、ONE COACH 林田章紀 市スポーツ団体：市スポーツ協会、市陸上競技協会、市サッカー協会、市バスケットボール協会 内容：①スポーツフェスティバル in 対馬 令和5年11月23日（木）祝日 シャインドームみね 保護者を含め400名程度 ②各競技団体スポーツ教室 ・陸上教室（2月12日、23日） ・サッカー教室（2月10日） ・バスケットボール教室（3月9日）</p> <hr/> <p>離島ゆえのハンディを抱える子どもたちの競技力向上及び指導者の育成・指導力の向上のため、プロスポーツクラブと連携して実施したスポーツ教室は、大変好評であり有効性のある事業として実施できた。 今年度実施した「スポーツフェスティバル in 対馬」においては、400人を超える市民が集い、小さな子どもたちにスポーツに触れる機会の提供、また、スポーツする側だけではなく、応援する側も一緒に楽しみ盛り上げる体験も行い、新たなスポーツへの関わり方の、きっかけづくりにつながる事業となった。 次年度以降も、更にスポーツの魅力を発信しながら、一人でも多くの市民が、スポーツに関わる環境づくりを行う。</p>
		(3) 体育施設の整備及び有効活用	<p>■市民が利用しやすい環境の整備 体育施設等の修繕や設備の更新など、施設の整備を行った。 ○施設等の修繕料：12,911千円 〔主な内容〕 ・日新館2階男女トイレ便器洋式取替修繕 ・美津島体育館雨漏り修繕 ・豊玉総合運動公園プール漏水塗装修繕 ・シャインドームみね照明灯、防火設備、トイレ便器修繕 ・上対馬総合運動公園水道管漏水修繕 ○維持補修工事費：8,000千円（6年度～繰越） 〔主な内容〕 ・巖原体育館天井改修工事（6年度～繰越） ○体育施設整備工事費：50,154千円（4年度から繰越） 〔主な内容〕 ・豊玉総合運動公園野球場トイレ新設工事 ○備品購入費（機械器具）：449千円 〔主な内容〕 ・峰総合運動公園陸上競技場備品の購入（テント3張） ・峰総合運動公園野球場用汚水ポンプの購入</p> <hr/> <p>各町体育施設の老朽化により補修工事や修繕の必要な箇所が多数あるが、緊急性のあるものから対処した。 備品については、陸上競技場のテントを、R3（7基）、R4（4基）、R5（3張）で14張購入し、安全で快適に利用できる整備が行えた。</p>

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 文化遺産の保護と活用の推進	1 指定文化財等の保存整備	(1) 史跡・名勝の整備推進	指定文化財の保存整備について各種委員会を開催し、史跡名勝の適正な保存管理に努めた。
			①対馬藩関連遺産群保存活用計画等検討委員会を開催し、国史跡金石城跡の第2期整備に着手した。 ②県史跡対馬藩お船江跡の築堤にき損が発生したため、委員、有識者を招聘し現地指導を仰いだ。 ③越高遺跡調査報告書作成のため、作業部会を実施した。 ④名勝旧金石城庭園の日常管理、植栽管理を行った。
		(2) 重要文化財等の適正な管理保存	重要文化財について、保存整備・修復を行った。 ①重要文化財 多久頭魂神社 高麗版一切経保存修理事業 ②重要文化財 宗家文書修理事業 ・重要文化財対馬藩宗家関係資料修復事業に対する負担 ③市内収蔵庫管理運営 ・重要文化財銅造如来坐像収蔵庫（黒瀬）管理業務委託 ・樞根法清寺観音堂管理業務委託 ①③史跡等の保存に必要な事業を計画どおり実施した結果、計画どおり整備工事を終え ^① 、調査報告書を刊行した ^③ 。 ②築堤（石垣）崩落により、急きよ、仮復旧工事の予算化及び対策を講じた。 ④遺跡等の除草、清掃を実施し、適正な保全に努めた。
	2 天然記念物の保護	(1) 天然記念物の適正な保存・保護	新たに条件を満たした「対州馬」4頭を対馬市天然記念物に追加指定した。
			対州馬保存会、上県行政サービスセンターと連携しながら、天然記念物の保護に努めた。
		(2) 関係団体等との連携強化	天然記念物保護のため、関係する各種会議へ出席した。 ①対州馬に関わる各種調査や懇談会等を行い、対州馬保存会との連携を深めた。 ②関係する会議への出席 ・対馬野生動物交通事故対策連絡会議、ネコ適正飼養推進連絡協議会出席 ①②関係する団体との連携の維持に努めた。

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 文化遺産の保護と活用の推進	3 市内遺跡の調査・保全	(1) 計画的な調査の推進	① 県埋蔵文化財センターの元寇関連遺跡発掘調査に支援を実施した。 ② アジア考古学研究室のヌルヘノクチ遺跡（峰町三根）の発掘調査支援を実施した。
		(2) 適正な調査体制の確立	① 市文化財保護審議会委員による警戒巡視実施 ② 市文化財巡視員による巡視 ③ 文化財保管施設所有者との連携・協議 ④ 文化財保護ネットワーク関係者連絡会議の開催 (共通) 全て実施することができた。特に文化財所有者とは、定期的に面談、連絡を取ることが必要である。防犯対策に終わりではなく、継続して実施していくことに加え、常に新たな対策を検討していくことが重要である。
		(3) 無許可開発行為等の防止対策の実施	電柱敷設、公共事業等に伴う発掘に際し、埋蔵文化財包蔵地等との確認立会を行った。 公共、民間による開発工事との調整を図り、文化財の破壊損傷を未然に防止することができた。
	4 民俗文化財の調査・記録保存	(1) 有形民俗文化財の適正な管理・保管	豊玉町郷土館、峰町歴史民俗資料館、上対馬町歴史民俗資料室の3既存施設の適正な管理に努めた。 郷土館・資料館の適正な維持管理に努めた。
		(2) 無形民俗文化財の伝承保護、調査	豆敷の赤米について、現状を知ってもらい、新たな取り組みを模索している中、神田付近で赤米サミットを開催した。 神事の復活は困難な状況にある。赤米の保存を目的とした新組織の立ち上げ、神田の復活等について、参加者と活発な意見交換を行い、現状の共有と課題を明確にすることができた。
	5 文化財の活用	(1) 文化財PRイベントの実施	国史跡金石城跡、国名勝旧金石城庭園を対象としたまち歩きイベントを開催し、市民への文化財周知に努めた。 昨年度に引き続き、多くの方に参加していただき、好評を得た。次年度もテーマを変え実施する予定である。

施策方針	主要施策	主な取組	活動内容等
			点検・評価のコメント
◎ 文化遺産の保護と活用の推進	5 文化財の活用	(2)子どもたちの郷土学習への寄与	<p>学校をはじめとした教育機関、研究者等への資料提供、解説の協力を行った。</p> <p>①昨年度に引き続き、縄文遺跡に関する学習を継続して行った。</p> <p>②要望のあった小中学校へ職員を派遣しテーマに沿った講義、フィールドワークを実施した。</p> <hr/> <p>(共通) 学校教育を通じて郷土の歴史、文化財を学び、理解を深めてもらうことができた。今後も校長会等で積極的に呼びかけを行いたい。</p>
		(3)情報発信の強化	<p>市報をはじめ、各種媒体を活用して文化財に関する情報の発信に努めたほか、文化財標識、案内板の補修更新に行った。</p> <p>①市報に「対馬発掘調査日誌」を継続して掲載した。</p> <p>②各種マスコミ取材等に対応し、対馬の文化財の情報発信を行った。</p> <p>③老朽化により破損、汚損した文化財説明板等を順次更新した。</p> <hr/> <p>○市報、市ホームページを活用し、市民へ文化財の継承、保存の必要性を啓発することができた。</p> <p>○市内文化財に関する情報を、多くの機会に多様な方法で発信することにより、対馬の文化財についての周知に努めた。</p>

学識経験者の所見

<評価できる点>

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

項 目	評価できる点
P 1 1 教育委員会及び教育委員の活動 (2) 教育委員会と事務局との連携	委員会開催前の議案や会議資料の送付、また、メール等での情報提供等、緻密な準備と円滑な会議進行への努力がうかがえる。
P 1 1 教育委員会及び教育委員の活動 (4) 教育機関等との連携 ①学校訪問	教育行政を執行するうえで、学校現場の現況や実態を知ることは重要である。 回数的には、昨年度よりやや減少したものの積極的に学校訪問が実施され連携強化が図られている。

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長に委任される事務）

項 目	評価できる点
P 5 2 学校施設の適正配置の促進 (1) 第2次統合計画の促進	豊小学校と比田勝小学校が統合となり、他の統廃合についても計画により粛々と進められている。 地域の学校が閉校するのは残念であるが、適正な教育環境のためには、いたしかたない。これまで同様、地域・保護者への説明を十分に行い、理解を得て進めてほしい。 統合計画は順調に進んでいると思う。 保護者や地域の方々の統合等に関する認識が以前ほど頑なではなくなっており、積極的に進めてほしい。
P 5 2 学校施設の適正配置の促進 (2) 島っこ留学の促進	島っこ留学については、里親の確保が大きな壁となり留学生を受け入れることができなかったが、新たに「孫戻し留学制度」を導入し、令和6年度に6名の留学生の受け入れが決まったことは大きな成果である。
P 6 1 対馬を支える人材の育成 (1) ふるさと学習の充実	管理職員や初任者を中心に、指導する側に対馬の魅力を理解・体験する取り組みが実施され、指導に活かされていると考える。

項 目	評価できる点
P 6～7 2 個々の学びの充実 (1) 学力向上対策	<p>小学校複式指導法研修会や小学校・中学校指導法改善研修及び経年研修における指導法研修等を通じて、教師のスキルアップの取り組みが計画的に実施されている。</p> <p>小学校3・4年生と中学校1年生にも独自の学力調査を実施し、学力向上への積極的な取り組みがうかがえる。得点にとらわれすぎず、弱点の把握・克服への手段としてほしい。</p> <p>小学校3・4年生と中学校1年生で対馬独自の学力テストが実施されているとのこと。弱点を見つけ全国平均へ近づける方法の模索を期待する。</p>
P 7～8 2 個々の学びの充実 (2) 特別支援教育の推進	<p>特別支援教育への理解が広がり、特別支援学級の児童・生徒が増加している。ニーズに対応すべく様々な取り組みが実践されていることを評価したい。</p> <p>一朝一夕には、指導者等のスキルアップも難しく、介助員の確保等の様々な課題もあるが、これからも重視して推進してほしい。</p>
P 8 3 自己実現を目指す子供の育成 (1) 生徒指導の充実	<p>生活指導主任・生徒指導主事研修会の2回開催について、近所に不登校気味の中学生がいるが、担任らしき先生が毎日のように自宅を訪ね会話をしている様子を見かける。粘り強い対応に頭が下がる。研修会の成果が出ているのではないだろうか。</p>
P 9 3 自己実現を目指す子供の育成 (3) 人権・平和教育の推進	<p>長崎県人権教育研究大会が対馬市で開催されたことについて、準備及び運営等で苦労が多かったと思うが、多くの参加者を得て人権意識向上への啓発につながった。成果と反省を今後の人権教育に生かしてほしい。</p>
P 9～10 4 健やかな体を持つ子供の育成 (2) 健康教育の推進	<p>保健主事・養護教諭研修会等を通して、児童・生徒への心身の健康教育が進められている。重要かつ多様で繊細な問題も多いため、今後も学校との連携を図りながら進めてほしい。</p> <p>子供たちを見ていると、食事の時や机で学習している時の姿勢の悪さが目立つ。研修会で学ぶ「悪い姿勢が体と心に及ぼす影響」や「姿勢を改善するための手立て」を教えることは大切だと思う。</p>

項 目	評価できる点
P 1 0 5 ICTを活用した教育の充実 (1) 端末活用の促進	<p>ICT機器が当たり前のように授業で使われ、子供たちもスムーズに使いこなしている。ICT研修の成果を評価したい。</p> <p>校外での目的外の使用についても耳にするので、情報モラルについても徹底した対応を望む。</p>
P 1 1 6 その他 (1) 経年研修の実施	<p>毎年12名ほどの初任者が対馬市で教師としての一歩を踏み出している。</p> <p>教師としての基礎研修に加え、離島の特色を体得する研修が仕組みられている。</p>
P 1 5 2 郷土を愛する『つしまっ子』の育成 (1) 地域の人材や資源を活用した体験学習機会の充実	<p>子供たちの居場所確保と体験等を通しての学習活動は良い取り組みであり、今後も需要は増えることが予想できる。</p> <p>人材確保が大きな課題だが、更に拡大できることを望む。</p>
P 1 6 2 郷土を愛する『つしまっ子』の育成 (2) 地域が一体となった青少年健全育成の推進	<p>「こころアクションフォーラム i n 対馬」について、昨年度までの「対馬少年の主張大会」と「じんけんを考えるつどい i n 対馬」を合同で開催したことで、参加者の増加につながり良かったと思う。</p> <p>第1回の成果と反省を生かし、より良い第2回へとつなげてほしい。</p> <p>新たに取り組まれた「こころアクションフォーラム i n 対馬」について、参加者を増やす方策として賛成する。それに伴う課題もあると思うが、改善すべき点は見直し、より良い大会を目指してほしい。</p> <p>「こころアクションフォーラム i n 対馬」について、今までの事業を合同で開催できたことは今後の大きな一歩につながったと考える。</p> <p>改善点を生かしながら、より良い事業につながることを期待したい。</p>

項 目	評価できる点
P 1 8 4 心を潤す芸術文化活動の推進 (1) 芸術文化活動の発表機会の場づくり	文化祭の開催については、関係者の減少により実施に苦慮されているだろうが、検討及び改善を重ねて継続していただくことを願う。
P 1 8～1 9 4 心を潤す芸術文化活動の推進 (2) 本物の芸術・文化に触れる機会の提供	メディアやネットを通して好みのものを見る機会は増えているが、直接触れることは少ない。離島においては尚更である。 今後も、このような機会づくりを続けてほしい。
P 2 1～2 2 7 生涯・競技スポーツの普及振興 (2) 競技力向上のための支援の充実	各種大会等がコロナ禍前の状況で開催できるようになった。補助実績額の増額を考慮しながら、継続的な支援をお願いしたい。 しまのスポーツ活性化実行委員会を設立し、プロスポーツクラブと連携した取り組みは、スポーツ活性化への弾みとなった。今後の推進に期待したい。 11月に開催された「スポーツフェスティバル in 対馬」は、プロスポーツクラブとの連携もあり、非常に良いイベントだったと感じた。子供を対象とすることで、多くの参加者が集まったように思う。 いずれは、世代で区切ることなく、多世代が交流できる場として、また、プロスポーツチームへの興味・関心が市民の中で高まるような機会があれば良いと思う。
P 2 4 3 市内遺跡の調査・保全 (2) 適正な調査体制の確立	文化財所有者との面談や連絡が大切である。 ややもすれば、所有文化財の重要性を軽視しがちなため、再認識してもらうためにも必要な手段である。
P 2 4 5 文化財の活用 (1) 文化財PRイベントの実施	まち歩きイベントの参加者数を見ると、市民の関心の深さを感じる。 今後の開催回数増大と開催地域の拡大も併せて希望する。

項 目	評価できる点
P 2 5 5 文化財の活用 (2)子どもたちの郷土学習への寄与	<p>小・中学校で児童・生徒たちに「郷土の歴史」について講話する機会があるが、子どもたちが郷土の歴史や文化財について、意外と興味を持っていることを感じる。</p> <p>願わくば、校長を始めとする教職員にもう少し歴史や文化財への関心を示してもらおうべく工夫を望む。</p>

<改善を要する点>

第1 教育委員会の活動及び管理執行事務

項 目	改善を要する点
P 1 1 教育委員会及び教育委員の活動 (1) 教育委員会会議の運営改善 ②議事録の公開、広報、公聴活動の状況	<p>令和5年度の傍聴者0人（令和4年度も0人）について、会議録の市ホームページへの掲載で満足することなく、事前に委員会開催日時等の周知に力を入れるべきではないか。</p>

第2 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長に委任される事務）

項 目	改善を要する点
P 4 1 小・中学校施設の整備 (2) 児童・生徒の安全対策	<p>学校施設の老朽化により、改善が進められている。予算を伴うことで思ったほどのスピード化は難しいが、着実に進んでいる点は評価したい。</p> <p>早急に改善してほしいのは、特別教室のエアコン設置である。近年の異常な暑さの中での特別教室での授業は、児童・生徒も教員も安全・安心とは言えないと考える。</p> <p>訪問した学校で、即席の雨漏り対策が講じられている。今に始まったことではなく常態化している。予算との兼ね合いもあるだろうが、早急な対応を願う。</p>
P 5 2 学校施設の適正配置の促進 (2) 島っこ留学の促進	<p>昨年度は撤廃も含めて再検討を提案した。</p> <p>「里親留学制度」による留学生は、現在も里親不在で0人とのこと。この制度をこのまま続けるのであれば、教育委員会としても相当の覚悟を持って取り組んでもらいたい。現行の情報発信・周知活動では問題の改善にはつながらないと思う。</p>

項 目	改善を要する点
P 6 1 対馬を支える人材の育成 (1) ふるさと学習の充実	<p>「ふるさと学推進会議」に参加したが、モデルカリキュラムを見ると「韓国の食について」、「韓国文化体験」、「韓国語教室」等、韓国関係の羅列が目立つ。そこに教育委員会からは「朝鮮通信使」を共通教材にとの指導があっており違和感を覚える。</p> <p>おそらく、朝鮮通信使の記録類が世界記憶遺産に登録されたことを受けての判断なのだと思うが、複雑な日韓関係やデリケートな問題を含む朝鮮通信使をふるさと学習の教材として取り扱うことは適当なのか。</p> <p>日韓友好のシンボルだとする表面的評価の裏に隠れる歪な史実があることも深慮すべきではないか。</p>
P 6～7 2 個々の学びの充実 (1) 学力向上対策	<p>教育改革が急速に進み、「自主性」や「意欲」等が重要視されるようになったが、それは基礎となる学力があって伸びるものだと思う。</p> <p>基礎学力を定着させるための指導法についての研修の在り方も考えてほしい。</p>
P 7～8 2 個々の学びの充実 (2) 特別支援教育の推進	<p>特別支援教育の指導者のスキルアップが難しいと思う。専門知識を持つ教師が少なく、一朝一夕に身につくものでもないから、担当者を中心に組織的な指導体制を考えてほしい。</p>
P 8 3 自己実現を目指す子供の育成 (1) 生徒指導の充実	<p>多様性の社会背景のもとに、校則の見直しや制服の共通化が進み、生徒指導も個への対応が重視されるようになった。</p> <p>いじめ、不登校やネット等への対応など個々の様々な問題に対処できるような研修が、これまで以上に必要となるのではないか。</p>
P 10 4 健やかな体を持つ子供の育成 (3) 食育と学校給食の充実	<p>安全・安心な学校給食については、きめ細かなアレルギー食への対応等、頭が下がる思いである。反面、十分な調理員が確保できずに、給食の供給が一部滞ることもあったと聞く。今後も人員確保に注力してほしい。</p>

項 目	改善を要する点
P 1 1 ~ 1 2 6 その他 (2) 管理職員研修の実施	<p>令和6年度から新しい人事評価が本格実施となり、不安に思っている管理職員もいると推察する。</p> <p>統一した意識を持って、適正な評価ができるよう研修を重ねてほしい。</p>
P 1 3 6 その他 (4) 幼稚園・こども園教育の充実	<p>令和6年4月の比田勝こども園の入園式は園長不在で開催される危険があったと聞く。</p> <p>従来のような園長及び教頭の募集方法に限界を感じており、教育委員会事務局職員やこども未来課職員の出向等の方策を検討すべきではないか。</p>
P 1 8 4 心を潤す芸術文化活動の推進 (1) 芸術文化活動の発表機会の場づくり	<p>市制20周年を迎えたなか、文化展・文化祭は旧6町ベースで実施されている。展示に関しては各町でも良いと思うが、芸能発表に関しては、上県町と上対馬町のように2町合同で実施するような流れができないものか。(特に豊玉町と峰町)</p> <p>いずれは、市の文化祭として一本化する流れになることも予想されるため、今後の運営についても開催団体と協議していただきたい。</p>
P 2 5 5 文化財の活用 (3) 情報発信の強化	<p>Instagram や Facebook において、「対馬市教育委員会」のアカウントが作成されている。不定期で構わないので、文化財に関する情報等についてSNSを活用して発信してみてもどうか。</p> <p>また、対馬市公式アカウントもフォロワーが多いため、そちらにリポストしてもらうような体制を取る等、有効的に運用していただきたい。</p>

令和6年8月7日

青 木 俊 幸
 武 末 俊 紀
 多 田 侑 加